

# 不法投棄を防止

## 県など監視パト出発式

「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」(三十日―六月五日)にあたって、県は三十日、県庁で出発式を開いた。期間中、県は市町や地



出発式であいさつする石垣副知事(県庁で)

域住民らと協力し、啓発活動や不法投棄の監視パトロールを強化する。

石垣英一副知事は「関係機関や住民との連携で、不法投棄をしにくい環境を醸成してきた。不法投棄は早期に発見し、早期に対応することが大切」とあいさつ。「強い気持ちを持って監視パトロールにあたってほしい」と述べた。

式の最後には、パトカーや「不法投棄監視中」とステッカーを貼った民間企業の車両などが、参加者たちに見送られながら、監視活動に出発した。

県廃棄物監視・指導課によると、産業廃棄物の不法投棄件数は平成十五年度が九十二件とピークだったが、その後徐々に減少。二十四年度には七件にまで減った。